

変形労働制ではなく、せんせいふやそう!

止めよう! 変形労働制 3

「止めよう! 変形労働制」ニュース No.3

全北海道教職員組合

2019.10.25

変形労働時間制の導入ではなく、 実効ある解決策を求めます!

★変形労働時間制で長時間労働は解決されません

安倍内閣は今国会において、公立学校に「1年単位の変形労働時間制」を導入するための法案成立をねらっています。政府は「長時間労働が深刻な教員の働き方改革の一環」と説明しています。しかし、「1年単位の変形労働時間制」は、「見かけの残業時間」が減らされるだけで、深刻な長時間労働が固定化され、さらに助長されるとの批判が上がっています。

★私たちが求める長時間労働解決の方策

道教組も加盟している全教（全日本教職員組合）は、深刻な長時間過密労働の解決のために提言を発表し、とりくみをすすめています。その基本要件には、次のような内容が盛り込まれています。

(1) 教職員の定数改善を抜本的に行い、以下の2点を実現すること

① 少人数学級の実現

② 教員一人の持ち授業時間数に上限を設定。

(当面は、小20時間、中18時間、高15時間)

(2) 授業準備にかかる時間を、勤務時間内に保障すること。

(3) 過度な競争主義、管理と統制の教育政策を転換すること。



★みんなで声を上げることが大切です!

政府は、これまで、教員の深刻な長時間労働について「自発的勤務」だとしていました。それを、曲がりなりにも「教員の働き方改革」だと言っているのは、長時間労働への批判の声をいよいよ無視できなくなったからです。

職場から、「変形労働時間制ではなく、実効ある解決策を」の声を、ともに上げましょう。あなたの声を、道教組にお寄せください。たくさんの声が集まれば、状況を前に進める大きな力になります。

右のQRコードから、あなたの声をお寄せください。

